

保健事業について

特定健康診査等実施計画及び保健事業実施計画（データヘルス計画）に基づく、保健事業の令和5年度実施実績と令和6年度実施状況等は下記のとおりです。

1. 特定健診及び特定保健指導について

（1）特定健診

平成20年度から実施している内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）や生活習慣病重症化予防に着目した健康診査です。

①対象者：40～74歳の被保険者

②健診項目

基本項目：問診、診察、身体計測（身長・体重・腹囲・BMI）、血圧測定、尿検査（糖・蛋白）、血液検査【肝機能検査（AST・ALT・ γ -GT（ γ -GTP））、血中脂質検査（中性脂肪・HDL コレステロール・LDL コレステロールまたはNon-HDL コレステロール）、血糖検査（空腹時血糖またはHbA1c または随時血糖）】

詳細健診：心電図検査、眼底検査

町独自追加項目：貧血検査（ヘマトクリット、血色素量、赤血球、白血球）、尿酸、血清クレアチニン検査

③実施機関及び時期

	実施場所	実施時期
個別健診	町内 12 医療機関	R5 年 5 月～R6 年 3 月
集団健診	木もれ陽の里	R5 年 6 月、10 月

④受診率1（全体・男女別）

年度	R3	R4	R5
受診率	33.9%	36.2%	29.8%
男性	32.7%	34.7%	29.6%
女性	34.9%	37.4%	30.0%

⑤受診率2（年齢階層別）

年度		R3	R4	R5
項目	40～64 歳	27.0%	27.4%	22.4%
	65～74 歳	30.1%	33.3%	36.3%
	男	37.4%	41.3%	25.3%
	女	38.9%	41.2%	34.1%

(2) 特定保健指導

特定健診の検査結果による特定保健指導の実施状況は下記のとおりです。

【実施率・内臓脂肪症候群該当割合 他】

年度 項目	R 3			R 4			R 5		
	男性	女性	総計	男性	女性	総計	男性	女性	総計
実施率 (%)	38.8%	32.0%	36.5%	28.2%	46.0%	34.0%	18.7%	25.0%	20.5%
メタボ該当者	30.1%	8.8%	18.3%	28.1%	6.8%	16.1%	27.5%	6.0%	15.7%
メタボ予備群	15.0%	4.5%	9.2%	18.5%	5.7%	11.3%	18.7%	5.2%	11.3%
メタボ減少率 ※ ²	14.1%	21.4%	15.9%	16.8%	20.3%	17.8%	15.6%	12.2%	14.9%

※²前年度のメタボリックシンドローム該当者・予備群で当年度に該当しなくなった者の割合

2. 健診受診率向上等に向けた事業について

(1) 特定健診未受診者対策

特定健診未受診者を過去の受診状況により分類し、ハガキによる受診勧奨を実施。

対象者		R 5 年	R 6 年	方 法
前期	① 毎年受診者で申し込みがない者	191 人	265 人	分類ごとに内容の異なるハガキを送付
	② 過去3年間の不定期受診者	660 人	387 人	
	③ 過去3年間の無受診者	2,389 人	2,300 人	
後期	申込み済みで受診をしていない者	335 人	611 人	受診勧奨ハガキを送付

※R 5 年は9月と2月に実施し、R 6 年は6月と10月に実施。

(2) 健診異常値放置者への医療機関受診勧奨事業

特定健康診査受診者のうち、受診勧奨判定値に達しているが、医療機関を受診していない者を KDB にて抽出。R 6 年 11 月、34 人の該当者へ通知文書を送付しました。

(3) 健診結果説明会（特定健診継続受診対策）

R 3 年 8 月より年 1 回であった健診結果説明会を R 4 年から毎月開催。参加者には特典を配布しています。町民は誰でも参加できますが、特定保健指導対象者と生活習慣病重症化予防対象者には文書と電話にて勧奨し、健診結果説明会へ案内しています。

保健師より健診結果項目の数値の見方や病気のリスク、生活習慣についての説明のほか、管理栄養士より各自に合ったカロリーや食事量の計算や個別の健康相談を実施。

	R 4	R 5	R 6
実施回数	21	26	23
参加者数	187	194	125 (12 月末時点)
実施場所	役場、中央公民館、 木もれ陽の里、発地市 庭イベントスペース	中央公民館、 木もれ陽の里、発地市 庭イベントスペース	中央公民館、 木もれ陽の里、発地市 庭イベントスペース

(4) 生活習慣病重症化予防

特定健診受診者のうち、特定保健指導対象外で下記のいずれかに該当する者を通知、電話等により呼び出し、保健師等による生活習慣改善指導を実施。

- ・中性脂肪 300mg/dl 以上または LDL コレステロール 180mg/dl 以上の者
- ・収縮期血圧 160mmHg 以上または拡張期血圧 100mmHg 以上の者
- ・HbA1c7.0%以上の治療者で糖尿病性腎症重症化予防の対象でない者
- ・尿蛋白＋以上の者
- ・eGFR60ml/分/1.73 m²以下の者

(5) 糖尿病性腎症重症化予防

保健師により、糖尿病未受診者、糖尿病のハイリスク者を選定し、台帳を作成。通知により対象者を呼び出し、保健指導を実施。

評価指標	R 4	R 5	R 6 ※12 月末時点
① 対象者への介入率 (初回面接/電話実施率)	57.1% (16 人)	25% (6 人)	29.4% (5 人)
② ①で介入した医療機関未受診者の 医療機関受診率	68.8% (11 人)	83.3% (5 人)	100% (5 人)
③①で介入した者の翌年度の特定健診 受診率	68.8% (11 人)	50% (3 人)	
④③の受診者のうち翌年度の HbA1c 改 善率	72.7% (8 人)	66.7% (2 人)	

3. その他保健事業

(1) 人間ドック受診者への助成事業

令和 2 年度より軽井沢病院以外で受診した人間ドックも補助対象。

年度	R 3	R 4	R 5	R 6 ※12 月末時点
日帰り (10,000 円)	139 件	178 件	169 件	114 件
一泊 (20,000 円)	16 件	17 件	9 件	5 件
合 計	155 件	195 件	178 件	84 件
総 額	1,710,000 円	2,120,000 円	1,870,000 円	1,230,000 円

(2) 後発医薬品（ジェネリック医薬品）利用差額通知

後発医薬品に切り替えた場合、薬代がどの程度削減できるかの例を示した通知をすることにより、後発医薬品への切り替えを促しています。

実施月	対象診療月	通数
8 月	4 月調剤分	119 通
2 月	10 月調剤分	133 通

(3) 医療費通知

国民健康保険で受診した医療費の額をお知らせすることにより、被保険者に健康に対する認識を深め適正受診に努めていただくとともに、診療日数や請求額に誤りがないかを確認していただくため、年1回通知しています。

実施月	対象診療月	通数
2月	R5年11月～R6年10月	3,642通